

平成29年度 全国学力調査分析 小松川第二中学校〈国語〉

1. 結果の概要

カテゴリー 内容(観点)	問題番号	設問項目	都平均 (%)	全国平均 (%)	本校平均 (%)
話すこと・ 聞くこと6	A2一	目的に応じて資料を効果的に活用して話す。	89.3	87.8	86.7
	A2二	事実と考えとの関係に注意し、構成を工夫して話す。	82.5	79.6	82.9
	A7一	相手に分かりやすいように語句を選択して話す。	57.7	54	58.2
	A7二	話すための材料を人との交流を通して集める。	83.5	80.4	84.2
	B2一	目的に応じて資料を効果的に活用して話す。	87	85.4	82.3
	B2二	話の論理的な構成や展開などに注意して聞く。	76.6	74.2	73.4
	B2三	相手の反応を踏まえながら、事実や事柄が相手に分かりやすく伝わるように工夫して話す。	58.2	57.6	58.9
	話すこと・聞くこと			76.4	74.143
書くこと4	A3一	書いた文章を読み返し、語句の使い方を工夫して書く。	87	86	82.3
	A3二	書いた文章についての助言を基に、自分の表現を見直す。	86.1	84.3	82.9
	A5一	文章の構成を工夫して分かりやすく書く。	81.4	79.8	78.5
	A5二	目的や意図に応じて材料を集め、自分の考えをまとめる。	93.5	92.7	91.8
	B1三	表現の仕方について捉え、自分の考えを書く。	43.5	41.4	48.7
	B2三	相手の反応を踏まえながら、事実や事柄が相手に分かりやすく伝わるように工夫して話す。	58.2	57.6	58.9
	B3一	集めた材料を整理して文章を構成する。	78.4	75.3	75.9
	B3三	必要な情報を集めるための見直しをもつ。	70.6	68.8	72.2
書くこと			74.8375	73.238	73.9
読むこと6	A4一	文章の要旨を捉える。	84.1	81	87.3
	A4二	文章の構成や展開、表現の特徴について自分の考えをもつ。	75.7	72.9	74.7
	A6一	場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解する。	77.3	74.8	75.3
	A6二	場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解する。	63.7	60.1	55.1
	A8一	文章の表現の仕方について自分の考えをもつ	82.7	81.9	87.3
	A8二	文章に表れているものの見方や考え方について、交流を通して自分の考えを広くする。	74.2	72.3	77.8
	B1一	登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する。	85.9	84.1	86.7
	B1二	場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解する。	82.9	84.1	80.4
	B1三	表現の仕方について捉え、自分の考えを書く。	43.5	41.4	48.7
	B3二	必要な情報を集めるための見直しをもつ。	79.8	78.7	80.4
読むこと			74.98	73.13	75.37
伝統的な 言語文化と国語 の特質に 関する事項17	A9一1	文脈に即して漢字を正しく書く。	60	62.8	68.4
	A9一2	文脈に即して漢字を正しく書く。	62.6	62.3	72.8
	A9一3	文脈に即して漢字を正しく書く。	84.7	85.4	93
	A9二1	文脈に即して漢字を正しく読む。	98.2	98.7	96.8
	A9二2	文脈に即して漢字を正しく読む。	94.1	94.5	94.9
	A9二3	文脈に即して漢字を正しく読む。	94.2	94.3	94.3
	A9三ア	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う。	75.7	76.9	67.1
	A9三イ	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う。	63.6	61.4	58.2
	A9三ウ	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う。	87.5	85.7	89.9
	A9三エ	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う。	95.6	95.5	96.8
	A9三オ	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う。	94.4	94.2	94.9
	A9四	助詞のはたらきについて理解する。	92.1	91.6	92.4
	A9五	事象や行為などを表す多様な語句について理解する。	39.2	35.8	38.6
	A9六1	楷書と行書との違いを理解する。	52.1	49.6	60.1
	A9六2	行書の特徴を理解する。	65.2	63.7	60.8
	A9七1	古文と現代語訳とを対応させて内容を捉える。	78.3	77.2	77.2
	A9七2	古典には様々な種類の作品があることを知る。	78.5	78.5	79.7
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項			77.4118	76.947	78.58

2. 結果に対する課題と改善策

〈カテゴリー内容(観点)別の結果の課題と改善策〉

○話すこと・聞くこと

カテゴリー全体では、全国平均を上回ったが、都平均を下回った。これは前年度と同じ傾向である。今年度は特に、「目的に応じて資料を効果的に活用して話す。」が課題である。論述・記述の構成に関する演習や話し合い及び発表の機会を増やす。

○書くこと

カテゴリー全体では、全国平均を上回ったが、都平均を下回った。これは上記「○話すこと・聞くこと」と同じ傾向で、特に「書いた文章を読み返し、語句の使い方を工夫して書く。」「書いた文章についての助言を基に自分の表現を見直す」が課題である。上記カテゴリーと通ずる点があり、論述・記述の構成に関する演習が不十分と思われる。説明的文章の論理的展開を読み取る学習や作文指導、特に遂行について、より具体的に実施する。

○読むこと

カテゴリー全体では、全国平均、都平均共に上回った。学校全体で朝読書など、読書指導に力を入れてきており、文章を読むことそのものへの抵抗感が低い。そうした普段の習慣と授業での読解学習が奏功していると思われる。今後は、さらに様々なジャンルの文章を意識して読むように指導をしていく。

○伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

カテゴリー全体では、全国平均、都平均共に上回った。文脈に即して漢字を正しく書いたり、読むことができている。しかし、語句によってはその意味を正しく理解し、使いこなせていないものもある。上記の「○読むこと」にも通ずるが、様々なジャンルの文章を読む指導を増やしていく。また古典に関しても、さらに多くの作品に触れる機会を増やしていく。

【まとめ】

①既習事項定着のための工夫

文法事項や語彙力等、一度学習し獲得した能力の定着を図る。教科書のみならず、自作プリント、確認テスト等での演習を行う。また、その内容を定期テストにも出題することにより、復習する機会を与える。

②言語能力の復習、確認の徹底

国語力の基礎となる部分。既習の漢字であってもそれを使いこなせるまでには用例の反復練習が必要となる。定期的に問題演習を実施し、また、読書指導の中で語句の理解を深めさせ、言語能力の定着・向上を図る。

③個別指導の充実

書くことについての能力は、個人差が多いと感じられる。そこで論述・記述の構成を身に付けさせるためには、個々人が取り組んだものを使った添削指導が必要となる。生徒個人に合わせた具体的な個別指導をより充実させていくことで、話したり書く際に効果的に伝える能力の向上を図る。